

## 「改善提案シート」記載内容 中間とりまとめ

第2回・第3回ワークショップで参加者が記載した「改善提案シート」の内容を次のとおり分類した。

### 1 「現状の課題」分類まとめ

意見区分	
子どものスポーツの支え方	
	子どもの送迎が大変
	子どもたちの体力が低下している
	希望するすべての子どもがスポーツできるための環境づくりが不十分（費用面など）
	子どもの時に色々なスポーツを経験できるための仕組みのさらなる強化が必要
スポーツを「する」動機付け	
	スポーツイベントの情報が足りない、参加者が少ない
	スポーツに関わろうとする子どもが少ない
オリンピック選手を「応援する」ための環境づくり	
	オリンピック選手への関心を持続するためには工夫が必要
	今まで以上にオリンピックを目に触れる機会を増やす
アスリートと食	
	オリンピックの食の研究やPRを行う
指導者の存在	
	指導者の存在や指導者との連携の成果をさらにPRする
生涯スポーツのまちづくり	
	スポーツによる健康寿命を伸ばす取組みに生かす
スポーツ関連施設の活用方法	
	スポーツ施設の活用方法の改善や更なるPRが必要
その他	

## 2 参加者からの改善提案概要

### (1) 子どものスポーツの支え方

課 題		子どもの送迎が大変
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自力で行けるよう自転車や公共交通機関を把握する</li> <li>・ 送迎の乗合をしていく</li> <li>・ 個人の問題なので難しいが、できるだけ仕事等を調整して送迎する</li> </ul>
	地域の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会や試合だけではなく、子どもの住居付近まで運送する回送バスのようなものを導入する</li> <li>・ 指導者側が同意書等を記入したうえで送迎する</li> </ul>
	行政の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送り迎え禁止とするルールを作る</li> <li>・ 学校としてではなく町として同乗する際のルールを設ける（同意書等を交わすなど）</li> <li>・ 送迎バスが使用できるように補助金などを出す</li> <li>・ 送迎バスの費用を集める1つの手段として、募金を呼びかける</li> <li>・ スクールバスなどを活用する</li> <li>・ 送迎のサポート体制づくり（バス、タクシー、ボランティア）</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校とは別に、学校や自宅の近くでの公園等で練習できるようにする</li> </ul>

課 題		子どもたちの体力が低下している
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少年団、部活動以外での活動の場への理解を持つ</li> <li>・ 放課後、休み時間等にもっと体を動かす</li> <li>・ スポーツの時間を作る</li> </ul>
	地域の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動できる方の見守りを行う</li> <li>・ 地域全体で協力体制をとる</li> </ul>
	行政の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町のスポーツ施設への送迎バスの検討</li> <li>・ イベントを増やす</li> <li>・ ノーゲームデー、ノーテレビデーの逆の発想で、例えばポイント制で何かの町民割を受けられるなどのことを検討する</li> </ul>

課 題		希望するすべての子どもがスポーツできるための環境づくりが不十分（費用面など）
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加したい意思をしっかりと伝える</li> <li>・ 行政に頼らない自治意識を持つ</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が子だけでなく、スポーツを頑張っている子どもたちを応援する</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加したい子どもの願いを地域として叶える方策を考える</li> <li>・ 金銭的な支援を募る</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支えあうサポート体制の確立、コーディネートを行う</li> <li>・ 金銭的な支援を募る</li> <li>・ 新規スポーツクラブの許可、複数のクラブと協定を結ぶ</li> <li>・ 子どもファンド（子どもがプレゼンして活動費）の創設</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加したい子が誰でも参加できる環境づくりを町の特性にしていく</li> </ul>

課 題	子どもの時に色々なスポーツを経験できるための仕組みのさらなる強化が必要	
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々なスポーツを体験してみる</li> <li>・ 子どもたちとスポーツをして交流する</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合型スポーツクラブのような存在の親近感を沸かせるための催事を行う</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐそばで様々なスポーツを見られる「総合型スポーツクラブ」の特徴を周知する</li> <li>・ SNSなどの発信によって多くのスポーツを子どもたちに体験してもらう</li> <li>・ オリンピアンに参加をお願いする</li> </ul>

(2) スポーツを「する」動機付け

課 題	スポーツイベントの情報が足りない、参加者が少ない	
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲間に声をかける</li> <li>・ 町内にどのような団体（スポーツ）があるのか確認する</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中でスポーツ好きの仲間を作る</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メディアを使って宣伝する</li> <li>・ 広報で団体（スポーツ）の紹介をする</li> </ul>

課 題	スポーツに関わろうとする子どもが少ない	
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツイベントや体験会に参加してみる</li> <li>・ ウォーキングや散歩程度でもやってみる</li> <li>・ ゲームやスマホで時間を費やすのではなく、本、スポーツ、イベントなどに時間を使うようにする</li> </ul>

	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせなどのボランティアイベントを企画する</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の授業でブームになっているスポーツをイベントで取り入れる</li> <li>・ オリンピアンや実力者等が直接指導できるようなイベントや引退した。スポーツ選手が指導してくれるクラブなどで作る</li> <li>・ 学校、広報、SNSにスポーツの情報を発信する</li> </ul>

(3) オリンピック選手を「応援する」ための環境づくり

課 題		オリンピック選手への関心を持続するためには工夫が必要
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ選手につながるのある方を紹介する</li> <li>・ スポーツニュースを見るようにする</li> <li>・ 仕事で（メディアとして）発信、企画していく</li> <li>・ 幕別町出身のオリンピックが出ると応援する</li> <li>・ 学校、友人、職場にスポーツ選手の興味を持ってもらう</li> </ul>
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕別町出身のオリンピックをみんなで応援する</li> <li>・ 横断幕やポスターで周知する</li> <li>・ 身内意識の醸成</li> <li>・ オリンピアンをPRする</li> <li>・ スポーツ選手などつながりのある方の紹介やイベントの協力、提案、</li> <li>・ 地域の有資格者を使って、オリンピックの関心をつかむ。（例：薬剤師等でドーピングの説明をするなど）</li> </ul>
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十勝出身の方だけでもオリンピック選手や有名選手などとの接点を増やす取組みをする</li> <li>・ オリンピック選手を招いたイベントを行う</li> <li>・ オリンピックのパブリックビューイングを毎回行う</li> <li>・ 選手本人が来た時に何かしら子どもたちに触れるチャンスをつくる（イベントや学校訪問）</li> <li>・ イベントごとにアナウンスし周知する</li> <li>・ 幕別町とオリンピックに関連付けできるものを見つける</li> <li>・ SNSでの発信</li> <li>・ オリンピアンと関わりを持つ方、できる方の紹介</li> <li>・ 他の自治体と情報交換する</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント等でオリンピックの活躍シーンを盛り上げ続ける</li> </ul>

		・ スポーツCAFÉの開設
--	--	---------------

課 題		今まで以上にオリンピックを目に触れる機会を増やす
改善提案	個人の実組	・ 寄付などの協力
	地域の実組	・ 実行委員会を作って活動する
	行政の実組	・ オリンピックの名前を付けた大会を開催する（そのときにできるだけオリンピックとふれるチャンスを増やす） ・ オリンピックのSNSを活用する
	その他	・ スポーツやオリンピックを違う角度から情報を発信する ・ 祭りなどのイベントに5人のオリンピックが来る ・ 遠方からでもオリンピックの情報を発信してもらう

(4) アスリートと食

課 題		オリンピックの食の研究やPRを行う。
改善提案	個人の実組	
	地域の実組	・ アスリート食をPRする
	行政の実組	・ 大学などの研究機関と連携して、「アスリートと食」についてのデータ分析
	その他	・ 幼児期の良質なたんぱく質の摂取がオリンピックを多く輩出することに関係しているのではないか。

(5) 指導者の存在

課 題		指導者の存在や指導者との連携の成果をさらにPR
改善提案	個人の実組	
	地域の実組	・ 指導者の給与（報酬）を上げることを考える
	行政の実組	・ オリンピックの種目に特化する

(6) 生涯スポーツのまちづくり

課 題		スポーツによる健康寿命を伸ばす取組みに生かす
改善提案	個人取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検診に行く</li> <li>・ 年1回の体力測定</li> </ul>
	地域取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもだけではなく、大人や高齢を含めた町内会での住民ラジオ体操（公園やコミセンで）</li> </ul>
	行政取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会、老人クラブへの健康サポート（保健師や運動指導者の派遣）</li> <li>・ 引きこもり高齢者のサポート、巡回指導</li> </ul>

(7) スポーツ関連施設の活用方法

課 題		スポーツ施設の活用方法の改善や更なるPRが必要
改善提案	個人取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動等のスポーツを練習するために、スポーツ施設に通って、自主練習を行う</li> <li>・ スポーツ施設に一度でも足を運んでみる</li> <li>・ 利用できる施設は使うようにする（大人が自分ごととして、スポーツに参加しようとするのは難しい）</li> <li>・ 親が子どもに勧める</li> <li>・ 学校、町などに勧める</li> </ul>
	地域取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ参加のない町民への働きかけ</li> <li>・ 部活動、スポーツクラブで施設を利用する</li> <li>・ 家族や友人などと声を掛け合って、運動する習慣をつける</li> <li>・ 平等に使えるように独り占めしない</li> <li>・ スポーツを行う場所・施設の維持整備（施設に企業名をつけて企業のサポートや支援を受ける）</li> </ul>
	行政取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏ったスポーツのみの使用の見直しを行う</li> <li>・ どの施設に何のスポーツの練習場があるのか、細かく施設の広報を行う（例：体育館はバスケットコート2面分ある、武道場があるなど）</li> <li>・ SNSをもっと活用する</li> <li>・ 平等に利用できるよう広報などで（多くの方に）情報提供する</li> <li>・ 独占状態の体育館やコミセンの使用方法について見直す（個人利用者の使用率を高めることが大切）</li> </ul>

## (8) その他

課 題		スマイル公園の美化（国道側の清掃、環境整備）
改善提案	個人の実組	・ 道路法面の草刈りなど、伐採
	地域の実組	・ 就労センターに頼む
	行政の実組	・ 国道沿いなので、行政としても解決するようにする ・ 国道から歩き眺められるようにする
	その他	・ せつかくのスマイル公園をもっと見ていただけるとうにしたい

オリンピックの町が町内外の人にも今まで以上に感じられるためのアイディア

【見る】

大きなイベントに参加していただく（毎年または定期的に）
新聞、動画、SNS
歴代のオリンピックの銅像的なものが並んでいるのを見たら、オリンピックの町と感じられるかもしれない
観戦ツアーの企画
オリンピック以外の大会のパブリックビューイング
スポーツ施設内でのカフェ、バーを設置（常設又はパブリックビューイング時）
オリンピックの出場する大会のSNSでの告知とオリンピックのブログ公開

【する】

町民、町外の方が参加しやすいように宣伝する
SNS等、幕別町のfacebookなどで応援する
町のイベントにオリンピックを！
選手の名前を付けた大会は？
オリンピックの名前が付いた大会の開催（子どもだけでなく、親世代や高齢の部門も作り、参加者も多数出るとすごいと思う。）
こども以外の部門はオリジナルのルールを設けて、怪我しないようにする。
レクリエーション的な場として、幅広い世代の交流になるかも。
アスリート発掘の観点から、小中高校生に体力測定で1級取得者に町内のデザイナーが作成したオリンピックバッジを贈呈
生涯スポーツの観点から、住民に〇年間通院なし（健診は含まない）、健康で過ごした人にオリンピックグッズ（万歩計など健康グッズ）を贈呈

【応援する】

SNS等に各自載せたり、話をしたりする
学校単位に応援してもらう
寄附
発信する
パブリックビューイング
アスリート食又はオリンピックゆかりの食をPR
オリンピッククラウドファンディングで投資を募集し、返礼として農作物や食材の提供、達成ファンドでオリンピックの来幕費用や町内のスポーツ支援金にする。スポーツ支援金は行政が決定するのではなく、住民によって用途を決定する。



【自由記載】

オリンピックの同時輩出要因の原因について、いろんな立場から意見が出ていますが、第2回目のワークショップで提示されたデータ（運動習慣等）からみても、直接的な相関は低いような気がします。ただ、オリンピック本人の輩出理由で取り上げた「食」「施設」「送迎」には説得力がありました。伊藤さんがおっしゃるように、大学などの研究機関と連携して、本格的にデータ分析をすることで何か大きな発見、共通項があるかもしれません。大いに興味があります。私個人としては、“幼児期の良質なたんぱく質の摂取”がキーワードだと思います。

幕別町に限らず、「十勝」という大きいくくりで見ると、道内でもスポーツ大国の地域であり、スポーツ大国の要素として「指導者の存在」「指導者の連携」だと言われています。途絶えることなくアスリートの能力を伸ばしていく縦と横の連携は十勝ならではのと思っています。